

パーパス

「一人ひとりの、生きるに、活きる。」

人生のあらゆるステージに寄り添うことで。

自然の叡智を科学することで。

一人ひとりのすこやかな日々の力となる。

医療用漢方事業における価値創造

自然 >



生薬 >



漢方製剤 >

価値連鎖

- 水・生薬残渣の再資源化
- 森林・土壌・水源の涵養
- カーボンニュートラルの実現

- 生薬の栽培化
- 生薬契約栽培による地域の一次産業の活性化
- 生薬栽培従事者の育成

- 漢方医学の普及（情報提供プラットフォーム）
- 医療ニーズの高い領域への集中（高齢者、がん（支持療法）、女性）

数値で見る特徴

- 原料生薬の調達先
中国：約**90%**
日本・ラオス・その他：約**10%**

- 自社管理圃場による生薬栽培
87.4%
自社管理圃場比率

- 生薬保管能力
中国：約**65%**
日本：約**34%**
ラオス：約**1%**

- 医療用漢方製剤の販売
2,656万箱
(129処方)

※掲載の数値はすべて2026年3月31日現在

ツムラのCSV

自然

- 持続可能な原料調達
- 資源の循環利用

- 生物多様性の保全
- 気候変動対策

科学する

- 天然物由来の医薬品・製商品による新たな価値の創出

ツムラグループは、天然物由来の医薬品・製商品・サービスを通じて、健康長寿社会の実現を目指す研究開発型の製薬企業です。パーパス「一人ひとりの、生きるに、活きる。」を究極的に成し遂げる事業の志として掲げ、医療用漢方製剤のリーディングカンパニーとして価値創造領域の拡大に取り組んでいます。

私たちは、漢方医学と西洋医学の融合による最適な治療の実現、未病状態の可視化と早期対策の判断基準づくり、養生の実践による健康維持・増進など、多面的なアプローチで患者様と医療現場の課題解決を進めています。これらは挑戦的なテーマですが、

医療関係者の皆様との対話を通じ、漢方の有効性と将来性に確かな手応えを得ています。また、国内外のパートナーと連携し、漢方薬・中薬の可能性をグローバルに広げる取り組みも加速しています。さらに科学的エビデンスの構築力や品質・安全性を支える管理体制、品質第一の企業文化を基盤に、信頼される製品を届けるとともに、生薬生産者を含むサプライチェーンの未来を共に育んでいきます。

当社グループは、心身と社会のwell-being、そして個人と社会が“Cho-WA(調和)”のとれた未来を実現するために、事業の進化を着実に進めています。



医師 >



患者様



- 診療ガイドラインへの収載
- 有効性・安全性・均質性を確保した漢方製剤

- 漢方医学と西洋医学を融合した治療
- 漢方による標準治療
- 漢方による個別化治療

- 心身の調和がとれた健康の実現
- 西洋医学で治療が難渋する医療ニーズへの対応

- 診療ガイドラインへの収載

167件

診療ガイドライン収載数

出所：日本東洋医学会EBM委員会、診療ガイドライン・タスクフォースによる集計

- 医療用漢方製剤の市場規模

2,320億円

(ツムラシェア：84.4%)
参考：国内医薬品市場規模：約11.8兆円
(漢方・生薬製剤が占める割合：約2%)
出所：Copyright ©2026IQVIA. JPM
2025年4月～2026年3月をもとに独自に集計(無断転載禁止)

- 医療用漢方製剤の投与比率

48.5% **66.9%**

65歳以上 女性比率

出所：厚生労働省 第10回NDBオープンデータ

- 漢方薬を使い分ける医師

50.3%

10処方以上を処方する医師の割合
※当社調べおよび外部アンケートで集計

- 伝統医薬である漢方製剤等の医薬品の持続的安定供給

健康

- 天然物由来の高品質な医薬品・製商品へのアクセス拡大
- 漢方の標準治療の拡大とエビデンスの構築

- 最先端技術による漢方の個別化治療への取り組み
- 一人ひとりのライフステージに合った健康への貢献

目次

1 ツムラグループの価値創造

4 価値創造ストーリー

- 5 漢方薬・中薬が生み出す長期価値の創造
- 11 価値創造基盤の構築
- 13 CEOメッセージ
- 17 COOメッセージ
- 21 特集：価値創造を支える品質基盤の蓄積

27 ビジョン実現に向けた経営戦略

- 28 理念を実行につなげる経営の仕組み
- 29 マテリアリティが示す経営の方向性
- 31 財務・プレ財務ハイライト
- 35 サステナビリティビジョンの進捗
- 41 長期経営ビジョンの進捗
- 45 財務・資本戦略
- 49 漢方医学の普及
- 51 エビデンスの構築
- 53 未病の科学化
- 55 DX推進基盤の整備
- 56 中国事業の基盤構築
- 59 ヘルスケア領域における価値創造
- 61 人財・組織能力の強化

65 ビジョン実現のためのガバナンス

- 66 社外取締役座談会
- 69 コーポレート・ガバナンス
- 78 リスクマネジメント
- 81 会社情報

編集方針

統合報告書は、投資家をはじめとするステークホルダーの皆様、ツムラグループが長期的な視点で描く価値創造ストーリーと、その実現に向けた道筋をご理解いただくことを目的として発行しています。

統合報告書2026では、価値創造ストーリーの全体像に加え、長期経営ビジョンの実現に向けた実行プロセスを具体的に示すレポートへと進化させています。この実現に向け、統合報告書を通じていただいた投資家のご意見を反映するとともに、企画段階から部門横断で議論する体制へと見直しました。さらに、CEO、COO、CFO、CTOが構成検討の場を設け、経営の意思と開示内容の一貫性を高めることで、価値創造ストーリーの明確化と信頼性の向上を図っています。

今後も、ステークホルダーの皆様との対話を通じていただくご意見・ご示唆を踏まえ、より分かりやすく有用性の高い報告書の発行に努めていきます。

会社名の表記について

本報告書における会社名の表記は以下のとおりです。

- ツムラ、ツムラグループ、当社グループ：
国内外のツムラグループの総称
- 当社：株式会社ツムラ(単体)

報告範囲と対象期間

パフォーマンスデータは2025年度の実績です。

株式会社ツムラ／株式会社ロジテムツムラ／株式会社タ張ツムラ(2025年4月1日～2026年3月31日)

津村(中国)有限公司ほか中国関係会社12社／TSUMURA USA, INC.(2025年1月1日～2025年12月31日)

集計範囲が上記と異なる場合は、その都度対象報告範囲を明記しています。

将来の見通し等に関する注意

本報告書によって提供される資料および情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。将来の予測等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれています。

したがって、実際の業績等は予想値とは異なる結果となる可能性があります。また、医薬品に関する情報が含まれていますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

ウェブサイト関連情報

コーポレートサイト

☑ <https://www.tsumura.co.jp/>



IR情報

☑ <https://www.tsumura.co.jp/ir/>



漢方ビュー

☑ <https://www.tsumura.co.jp/kampo-view/>



サステナビリティ

☑ <https://www.tsumura.co.jp/sustainability/>

